

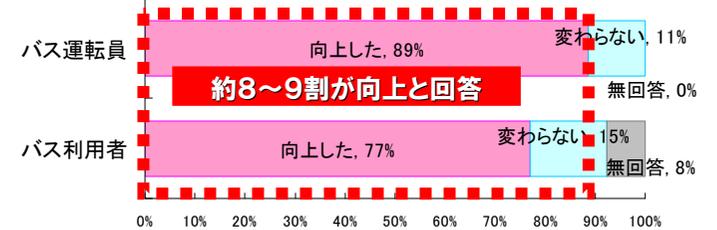
バス停車帯整備による交通の安全性・円滑性確保

- ・懇談会を通じて地域住民やバス事業者と合意形成を図りながら、バス停車帯整備を実施
- ・バス利用者やドライバーからは安全性が向上したと評価（回答者の約7～9割）
- ・さらに、バス停車による溜まりがなくなり、幹線道路の円滑な走行が可能に（渋滞長190mが解消）

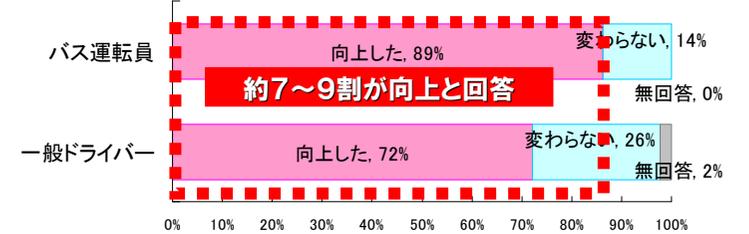
⇒ バス停車帯の整備により安全性の向上と渋滞の解消が実現

◆利用者・ドライバーからの評価

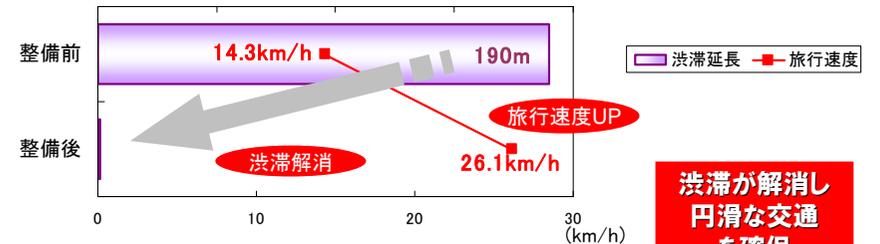
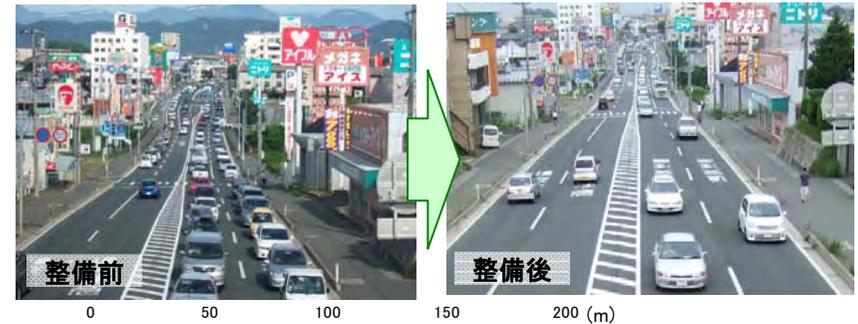
バス乗降の安全性について



自動車交通の安全性について



◆バス停の手前側の渋滞状況変化

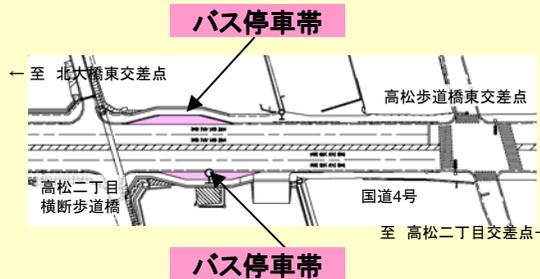


**渋滞が解消し
円滑な交通
を確保**

※調査対象: <整備前> 平成22年7月26日(月) 北大橋東バス停7:31分着バス
<整備後> 平成22年8月2日(月) 北大橋東バス停7:31
※渋滞長: 上記バスがバス停車帯時における後続車両の滞留長
※旅行速度: 「北大橋東交差点」と「高松二丁目交差点」間における上記バス後継車の速度

◆バス停車帯の整備

北大橋地区事業計画: L=70(m) A=146(m²)



◆懇談会の開催



現状課題や整備効果イメージ等について、学識経験者・地域住民等と意見交換し事業へ反映